

図書整備ボランティア募集中

19日、26日の両日『図書室見学会』が「ろくっこぶっくまま」さん（図書整備ボランティア）の協力を得て開催されました。

お子さんがこの3月に卒業されたOBの方や新しい方なども参加され、図書室の様子を見ていたり、「ぶっくまま」の図書整備の実演など、参加者みんなで和気あいあいとした『図書室見学会』となりました。

「子供たちが来たくなる図書室づくり」「子供たちが本を手にとってみたくなる図書室づくり」を願って数年前から始められたボランティア活動です。誰でも特別な技術がなくても参加できる活動です。本校の図書室は、「子供たちが読書を好きになる図書室」と、江戸川区内で知られており、他校からの参観希望もあります。

活動日は、毎週木曜日の10時30分から12時ころまでです。時間の都合がつく時で結構です。ご参加をお待ちしております。



（和気あいあいと図書整備）

ろくっこ みんな 集まれ！
今年最初の
ろくっこクラブ 6月4日(土)
12時30分～
みんなで楽しく『校庭で遊ぼう』

PTAの「ろくっこクラブ」スタッフの皆さんや六雄会の皆さんによる「ろくっこクラブ」が始まります。今回は、みんなで楽しく元気よく『校庭で遊ぼう』の「ろくっこクラブ」です。みんなで楽しく遊びましょう。

- ろくっこクラブ
- 親子ドッジボール
 - フリースロー大会
 - 大縄・フラフープ
 - ストラックアウト
 - めんこ・ベーゴマ

今年の「ろくっこクラブ」の予定は

- 6月 校庭で遊ぼう
- 9月 プールで釣り堀大会
- 11月 ろくっこまつり
- 12月 落ち葉で焼きいも大会
- 1月 餅つき大会
- 2月 室内で遊ぼう

*変更することもあります

『あしぶえ』掲載作文紹介

江戸川区教育委員会発行児童作文集

命の花

（現在六年生）

十一月二十二日、月曜日朝八時。わたしは大きく息をついた。新せんな朝の空気がはいにしみわたる。なんてすがすがしい気分なんだろ。朝日がささやかな紅葉を照らし出す。もう秋なんだなと思った。こんな風に学校へ行くと中の安らぎのひとときを、満きつしていた。学校に向かって一步、また一步と歩き出した時、わたしのし線はある物にすい寄せられていた。花だ。道ばたにさく小さな雑草の花。「めずらしない、なんでこんな寒いのに花がある？」と不思議に思い次日の日から小さな花を観察することにした。

一日たった朝、花がある場所に足を運んでいくと、花はかわりなく、ひっそりとさいていた。だが、どこかが昨日どちらがう。そう。前まであったあふれんばかりの生気が今日となるとないのだ。その原因をさぐるため、ますます観察に力を入れた。あれから三日間、日を追うことに、花のくきは、しんがくさりはじめたかのように折れ、その白かった花びらは、茶色くなっていた。

四日目の朝、あの小さな雑草の花は、かれてしまった。その花を見た時の心は、どうしようもない空っぽの気もちだった。「自分はなんてバカだったんだろう……これでは、花がかれた時を見るために観察していくようなものじゃないか。」後かいの念をいただきながら、わたしは学校へ向かった。残こくにも時間は過ぎていく。朝には、花という一つの命がなくなつたのに、学校はそれを知らないままいつも通りに「キーンコーンカーンコーン」とかねの放送を流す。たとえ他の人が、道ばたにさいているちっぽけな花に気づかなくても、自分にとっては、今では何か大切な存在だったんだと思う。

あの花を観察した五日間は、とても何かあつたかいものに包まれたような気分だった。きっと、あの精一ぱい生命にあふれている小さな雑草の花のことが、好きだったんだろう。それからしばらくたつたある日の朝に、かれられた花がある場所に行くと、そこには今にもくずれそうな花の下に二、三個の種が落ちていた。それを見下ろしながら、「命は消え、また新たな命が生まれ、そしてみな生命を歩む。」ふいにそう思った。またあの命そのものの花が見れるのかもしれないと思うと、うれしさでむねがいっぱいになった。その時、命は存在し、また新たな命が生まれるということはとても大切なものだと知った。

1年生のあさがおも育ってきました

